

## 2025 サマーキャンプ&ミニサマーキャンプ開催

2025年8月1日（金）～8月10日（日）にかけて、東京・神奈川・兵庫の3地区4会場にて、2025 サマーキャンプが開催され、今年も多くの子アリーダーが参加、海外からもスタッフが来日し、暑い日々を過ごしました！

オープニングは、指導スタッフの力強いアームモーションやダンス、迫力のあるスタントを組み込んだ、スタッフデモでスタート。選手たちも大いに盛り上がり、3日間のプログラムに向けて、やる気がみなぎりました！



サマーキャンプでは団体ごとにスタッフが担当する、ビッグブラザー アンド シスターという時間があります。スタッフとチアリーダーの話はもちろん、練習の相談や好きなものの話まで、たくさん会話をしながら、ゲームなどを楽しみ、仲良くなることができました♪



サマーキャンプでは、定期的に行われているワンデークリニック（一日安全技術講習会）と同様に、チア・サイドラインクラスや、タンブリング・スタント・ダンスクラスも開催されます。3日間のプログラムの中で、提供されるアームモーションやダンスを覚えるだけでなく、上手になるための指導を受けることができ、全ての技術でスキルアップすることができました！

特にスタンツクラスは、3日間レベル別のクラスが開催され、安全にスタンツを実施するための知識はもちろん、難しい技術の習得過程やピラミッドなどに挑戦しました。クラスの中では、習得できたかの評価テストが行われ、合格するとステッカーがもらえました！

視覚的にもここがまだ足りていない、これができないと次に進むことは難しいということが分かりやすく、とても勉強になりました。



キャンプの最大の魅力はプライベートコーチングです。チームごとに担当のスタッフがつき、大会に向けた演技やキャンプの最後に行われるエバルエーション（発表会）に向けたチーム演技の指導が行われます。

チーム別に希望する内容の指導を受け、エバルエーションやジャパンカップに向け、細かい部分までたくさんの内容を見てもらうことができました！

2日目に開催された1回目のエバルエーションは、グループ毎に行われます。観客とも近く、他のチームの演技を間近で応援することができ、一体感のある発表となりました。

発表会終了後、その日の成果を評価するリボンとコメントシートを受取ります。次の日の最終エバルエーションに向けたアドバイスがたくさん書かれたシートを何度も読み、次の日の課題について話し合いを行いました。



2日目の夜には、キャンプでのスタンツNO.1を決定する、「スタンツオフ」と交流会が開催！

交流会では他のチームと混じってゲームや出し物など、たくさんの交流ができ、たくさんの新しいチア仲間が増えました♪

キャンプ最終日の3日目からは、ミニサマーキャンプ参加チームも合流し、プライベートコーチングやスタンツクラスなどの各クラスの後、ファイナルエバルエーション（最終発表会）が開催されました！

どのチームも初日に比べ、本当に同じチーム？と疑うほど、上達していました！

最終発表会の後には、オーバーオール ウィークリー エバルエーション（最終評価）といって、キャンプマテリアルをしっかり習得できたか、1日目より技術が上達しているかを評価する時間があり、目標を達成できたチームにはゴールドリボンが渡されます。

結果発表は緊張の瞬間でしたが、参加全チームがゴールドリボンを獲得し、皆大喜び！  
たくさん練習してきた成果が出ていました！



キャンプを通して、安全に活動する知識や正しい技術に関する知識の習得はもちろん、他のチームが練習に取り組む姿勢を見てお互い刺激を受けたり、新しい仲間ができたり、経験豊富なスタッフの指導やアドバイスを受けたり、新しいダンスやアームモーションのバリエーションが増えたりと、3日間でたくさんの経験ができました。

参加チームの中には、何度も失敗する姿や時には涙する場面もありましたが、最終日にその何倍もの笑顔で喜んでいる姿を見て、3日間の成長を感じることができました。

まもなく開催されるジャパuncupや今後の活動で、このキャンプの経験を活かし、これからも活躍されることを期待しています。

最後に、東京 PART①キャンプで選ばれた 10 名のオールスターをご紹介します！

オールスターは、チア・ダンス・ジャンプ・タンブリング、そして、チアリーダースピリッツを競い、各キャンプでのベストメンバーがオールスターに選ばれます！

ジャパuncup最終日には、各キャンプで選ばれたオールスターチアリーダーたちで行われるオールスター演技が披露されます。

ジャパuncupでは、ぜひオールスター演技にも注目して下さい！



本サイトの記事、写真の転載はご遠慮ください。無許可の転載・複製は法律により罰せられます。

Unauthorized reproduction or duplication is punishable by law.